

勤務データを集計する仕組みについて

[勤怠処理] - [勤務データ入力] - [タイムカード入力]

[タイムカード入力]メニューの概要

タイムレコーダから日々の出退勤データを集計し社員別に表示できます。打刻忘れや事由の変更があった場合、時刻や時間の入力・修正などができます。[タイムカード入力]メニューに集計される内容は[導入処理]の各メニューの設定により変わります。「意図した集計にならない」などの場合、以下にまとめた各項目の仕組みを確認することで原因の特定ができます。

登録画面の項目について

■まずはタイムカード入力画面のイメージと各項目の概要を確認しましょう。

The screenshot shows the 'タイムカード入力' (Time Card Input) window. At the top, it displays the company name '301 営業部 東日本営業課' and the user '山田 一郎'. Below this is a table of daily attendance data. The table has columns for '確認' (Confirmation), '日付' (Date), '曜' (Day of week), '勤務体系' (Work system), '事由' (Reason), '出勤時刻' (Start time), '退社時刻' (End time), '出勤時間' (Start time), '普通残業時間' (Regular overtime), '休出残業時間' (Overtime on leave), '休憩時間' (Break time), '有休時間' (Paid leave), and '時間有休' (Time on leave). A red box highlights the entry for 2/19 (火) with a '1時間23分' (1 hour 23 minutes) overtime. Below the table is a summary row with '合計' (Total) and values for '出勤日数' (14.5), '休出日数' (3.4), '休出残業時間' (8時間00分), '休憩時間' (18時間00分), '有休日数' (3.8), and '時間有休' (0時間00分). At the bottom, there are buttons for 'F1 操作説明', 'F2 付箋', 'F3 事由追加', 'F4 勤務追加', 'F5 勤務削除', 'F6 一移動', 'F7 再計算', 'F8 中止', and 'F9 登録'.

▽各項目の概要です。次ページ以降で例をあげながら詳細を説明します。

確認	チェックをつけるとデータは確定（確認済み）とし修正・変更をできなくします。 ※タイムレコーダから打刻を読み込んででも「確認済打刻」のエラーデータになります。
勤務体系	登録した勤務体系によってその日の出勤時間や残業時間が集計されます。 スケジュール登録している場合はその勤務体系が初期値で表示されます。 タイムカード入力画面で勤務体系を直接登録することもできます。
事由	事由によって勤務や休暇の集計されます。また勤務体系の集計にも影響を与えます。 スケジュール登録をしている場合はその内容が初期値で表示されます。 タイムカード入力画面で勤務体系を直接登録することもできます。
出勤時刻/退社時刻	タイムレコーダから読み込んだ打刻を表示します。このメニューで直接入力も可能です。
時間	打刻データ(時刻)と勤務体系の設定に従って自動計算し表示します。 事由によっても集計時間に影響があります。直接入力も可能です。 (例1)勤務体系で普通残業を18:00~22:00と設定し、19:23に退出した場合、 普通残業時間は1時間23分と集計する。
勤怠項目	打刻データ(時刻)と事由をもとに処理月の合計日数を表示します。 (例2)午前半休の事由と午後の打刻データがある場合、有休日数0.5日と計上する。
休暇項目	打刻データ(時刻)と事由をもとに休日・休暇の残日数を表示します。 (例3)午前半休の事由と午後の打刻データがある場合、有休残日数を0.5日減らす。

やりたいこと・こんな疑問がある

- ・会社の就業規則を変更したため、あわせて出勤時間に集計される時間を変更したい
- ・タイムカード入力に集計された出勤時間が意図したものになっていない

具体例

「9:00～18:00」といった時間帯勤務の場合

- ・出勤時間帯は「9:00～18:00」、休憩時間帯は「12:00～13:00」、遅刻・早退なく働いた場合、出勤時間は休憩時間1時間を差し引いた8時間と集計したい
- ・退出時刻が17:52だった場合、15分単位で切り捨て、出勤時間は7時間45分と集計したい

意図通りに集計されたタイムカード入力画面

確認	日付	曜	勤務体系	事由	出勤時刻	退出時刻	出勤時間	普
<input type="checkbox"/>	3/1	(金)	0001	通常勤務			8時間00分	
<input type="checkbox"/>	3/2	(土)						
<input type="checkbox"/>	3/3	(日)						
<input type="checkbox"/>	3/4	(月)	0001	通常勤務	9:00	18:00	8時間00分	
<input type="checkbox"/>	3/5	(火)	0001	通常勤務	9:00	17:52	7時間45分	

■以下の手順で設定します。

- 1 [導入処理]-[勤務体系登録]-[勤務体系登録]メニュー
「勤務種別」を「0.時間帯」、「出勤区分」を「0.通常出勤」にする
- 2 「労働時間」タブの「出勤時間」に出勤時間項目を選択
- 3 時間帯を「9:00～18:00」に設定する
- 4 「休憩時間」タブの時間帯を「12:00～13:00」にする
- 5 労働時間を「0.休憩時間を労働時間に含めない」にする
- 6 [導入処理]-[勤怠端数処理登録]-[勤怠端数処理登録]メニュー
「基本」タブの出勤時間を「15分単位15分未満」「1.切り捨て」にする

ポイント

2で選択できる勤怠時間項目は
時間区分が「01.出勤区分」と
登録されているもの

△[導入処理]-[勤怠項目登録]-[勤怠時間項目登録]メニュー

やりたいこと・こんな疑問がある

- ・会社の就業規則を変更したため、あわせて出勤時間に集計される時間を変更したい
- ・タイムカード入力に集計された出勤時間が意図したものになっていない

具体例 「出勤してから8時間勤務」といった時間数勤務の場合

- ・出勤時間は入社してから「6時間」以上の場合は休憩を45分、「8時間」以上の場合は1時間の休憩
- ・9時以降、30分ごとにシフト制で勤務している
- ・9:19に出勤打刻、18:43に退出打刻をした場合、勤務スタートは9:30扱いで、出勤時間は8時間

意図通りに集計されたタイムカード入力画面

確認	日付	曜	勤務体系	事由	出勤時刻	退出時刻	出勤時間	普
<input type="checkbox"/>	2/16	(土)						
<input type="checkbox"/>	2/17	(日)						
<input type="checkbox"/>	2/18	(月)	0002 パート社員		9:19	18:43	8時間00分	
<input type="checkbox"/>	2/19	(火)	0002 パート社員		9:21	18:30	8時間00分	

■ 以下の手順で設定します

- 1 [導入処理]-[勤務体系登録]-[勤務体系登録]メニュー
「勤務種別」を「1.時間数」、「出勤区分」を「0.通常出勤」にする
- 2 「労働時間」タブの「出勤時間」に出勤時間項目を選択
- 3 時間数を「0時間00分～8時間00分」、開始時刻を「9:00」、刻み時間を「30分」に設定します。

ポイント

2で選択できる勤怠時間項目は
時間区分が「01.出勤区分」と
登録されているもの

△[導入処理]-[勤怠項目登録]-[勤怠時間項目登録]メニュー

- 4 「休憩時間」タブの時間数を「45分」と「15分」に設定し、それぞれの休憩時間帯を「出勤時間」にします。

- 5 それぞれの付加条件を以下のようにします。
45分：出勤時間が6時間00分以上の場合に有効
15分：出勤時間が8時間00分以上の場合に有効（つまり60分の休憩）

やりたいこと・こんな疑問がある

- ・会社の就業規則を変更したため、あわせて残業時間に集計される時間を変更したい
- ・タイムカード入力に集計された残業時間が意図したものになっていない

具体例

「18:00～22:00」が普通残業時間といった時間帯勤務の場合

- ・普通残業の時間帯は「18:00～22:00」、深夜残業の時間帯は「22:00～翌5:00」
- ・普通残業は退出打刻が18:15以降の場合のみ集計
- ・深夜残業時間は「深夜残業」の事由がある場合にのみ集計
- ・深夜残業時間は15分単位で切り捨てで集計
- ・退出時刻が22:33だった場合、15分単位で切り捨て、普通残業時間は4時間、深夜残業時間は30分

意図通りに集計されたタイムカード入力画面

タイムカード入力

301 営業部 東日本営業課

社員番号 100000

勤務データ入力

退出時刻や事由によって意図通りに集計されていることがわかります。

2/19: 「深夜残業」の事由がないため、「深夜残業時間」に集計されない

2/20: 退出打刻が18:15以降ではないため、「普通残業時間」に集計されない

2/21: 退出時刻が18:15以降のため、「普通残業時間」に集計される

「深夜残業」の事由があるため、「深夜残業時間」に集計される

確認	日付	勤務種別	事由	入勤時刻	退勤時刻	普通残業時間	深夜残業時間	その他
<input type="checkbox"/>	2/16							
<input type="checkbox"/>	2/17							
<input type="checkbox"/>	2/18 (月)	0001	通常勤務	12:15	15:00	0時間00分	0時間00分	0時間00分
<input type="checkbox"/>	2/18 (火)	0001	通常勤務	8:31	22:07	8時間00分	4時間00分	0時間00分
<input type="checkbox"/>	2/20 (水)	0001	通常勤務	8:29	18:11	8時間00分	0時間00分	0時間00分
<input type="checkbox"/>	2/21 (木)	0001	通常勤務	8:33	22:33	8時間00分	4時間00分	0時間30分

■以下の手順で設定します

- 1 [導入処理]-[勤務体系登録]-[勤務体系登録]メニュー
「勤務種別」を「0.時間帯」、「出勤区分」を「0.通常出勤」にする
- 2 「労働時間」タブの「残業時間」に「普通残業時間」と「深夜残業時間」を選択する
- 3 時間帯を以下のように設定する
普通残業時間：18:00～22:00
深夜残業時間：22:00～翌5:00
- 4 付加条件を以下のように設定する
普通残業：退出時刻が18:15以降の場合に有効
深夜残業：事由が深夜残業と等しい場合に有効

勤務体系登録

修正

コード	勤務体系名	勤務種別	出勤区分	利用状態
0001	勤務体系名	0 時間帯	0 通常出勤	1 有効

労働時間

No.	残業時間	時間帯	付加条件
1 004	普通残業時間	0 帯	18:00 ~ 22:00 退出時刻が18:15以降の場合に有効
2 005	深夜残業時間	0 帯	22:00 ~ 翌 5:00 事由が深夜残業と等しい場合に有効

勤怠時間項目登録

参照

コード	勤怠時間項目名	時間区分	利用状態
004	普通残業時間	05 法定外残業時間	1 有効

△[導入処理]-[勤怠項目登録]-[勤怠時間項目登録]メニュー

勤務端数処理登録

基本

時間帯別時刻設定

時間数別勤務時間設定

【勤務時間】

名称	端数設定
出勤時間	15 分単位 15 分未満 1 切り捨て
遅刻時間	00 分単位 00 分未満 0 切り上げ
早退時間	00 分単位 00 分未満 0 切り上げ
深夜残業時間	15 分単位 15 分未満 1 切り捨て

ポイント

2で選択できる勤怠時間項目は時間区分が「4.法定内残業時間」「5.法定外残業時間」と登録されているもの

- 5 [導入処理]-[勤怠端数処理登録]-[勤怠端数処理登録]メニュー
「基本」タブの深夜残業時間を「15分単位15分未満」「1.切り捨て」にする

やりたいこと・こんな疑問がある

- ・会社の就業規則を変更したため、あわせて残業時間に集計される時間を変更したい
- ・タイムカード入力に集計された残業時間が意図したものになっていない

具体例 「出勤してから8時間以降が残業」といった時間数勤務の場合

- ・普通残業の時間数は「8時間～14時間」、深夜残業の時間帯は「22:00～翌5:00」
- ・深夜残業時間は「深夜残業」の事由がある場合にのみ集計
- ・9時以降、30分ごとにシフト制で勤務している ・深夜残業時間は15分単位で切り捨てで集計
- ・出勤時刻が13:53、退出時刻が翌2:58だった場合、普通残業時間は3時間58分、深夜残業時間は4時間45分と集計する

意図通りに集計されたタイムカード入力画面

深夜残業の事由の有無で集計結果が変わっていることがわかります。

設定に従って以下のように集計
30分ごとのシフト制：13:53→14:00スタート
15分単位の切り捨て：4時間58分→4時間45分

確認	日付	曜	勤務体系	事由	出勤時刻	出勤時間	普通残業時間	深夜残業時間
<input type="checkbox"/>	2/16	(土)						
<input type="checkbox"/>	2/17	(日)						
<input type="checkbox"/>	2/18	(月)	0002 パート社員		9:19	22:02	8時間00分	3時間32分
<input type="checkbox"/>	2/19	(火)	0002 パート社員	20 深夜残業	13:53	翌 2:58	8時間00分	3時間58分
<input type="checkbox"/>	2/20	(水)	0002 パート社員		9:15	18:31	8時間00分	0時間01分

■以下の手順で設定します

- 1 [導入処理]-[勤務体系登録]-[勤務体系登録]メニュー「勤務種別」を「1.時間数」、「出勤区分」を「0.通常出勤」にする
- 2 「労働時間」タブの「残業時間」に「普通残業時間」と「深夜残業時間」を選択する
- 3 時間を以下のように設定する
普通残業時間：「2.時間数」「8時間00分～22時間00分」
深夜残業時間：「1.時間帯(重複)」「22:00～翌5:00」
付加条件を以下のように設定する
深夜残業：事由が深夜残業と等しい場合に有効
- 4 開始時刻を「9:00」刻み時間を「30分」に設定します。

勤務体系登録

新規

コード	勤務体系名	勤務種別	出勤区分	利用状態
0002	パート社員	1 時間数	0 通常出勤	1 有効

労働時間

No.	残業時間	時間数	開始時刻	刻み時間	付加条件
004	普通残業時間	2 数	8時間00分～12時間00分	30分	
005	深夜残業時間	1 帯(重)	22:00～翌 5:00	30分	事由が深夜残業と等しい場合に有効

勤怠時間項目登録

コード	勤怠時間項目名	時間区分	利用状態
004	普通残業時間	05 法定外残業時間	1 有効

△[導入処理]-[勤怠項目登録]-[勤怠時間項目登録]メニュー

勤務端数処理登録

基本

時間帯別時刻設定

時間数別勤務時間設定

名称	端数設定	端数	切り捨て	切り上げ
出勤時間	15 分単位	15 分未満	1	0
遅刻時間	00 分単位	00 分未満	0	0
早退時間	00 分単位	00 分未満	0	0
普通残業時間	00 分単位	00 分未満	0	0
深夜残業時間	15 分単位	15 分未満	1	0

ポイント

2で選択できる勤怠時間項目は時間区分が「4.法定内残業時間」「5.法定外残業時間」と登録されているもの

- 5 [導入処理]-[勤怠端数処理登録]-[勤怠端数処理登録]メニュー「基本」タブの深夜残業時間を「15分単位15分未満」「1.切り捨て」にする

やりたいこと・こんな疑問がある

- ・会社の就業規則を変更したため、あわせて遅刻・早退時間に集計される時間を変更したい
- ・タイムカード入力に集計された遅刻・早退時間が意図したものになっていない

具体例 時間帯勤務の場合

- ・遅刻/早退があった場合にはそれぞれ「遅刻時間」「早退時間」に集計する
- ・遅刻時間は5分以上の場合のみ集計する
- ・早退時間は5分単位の切り上げで集計する
- ・出勤時間帯が9:00～18:00で、出勤時刻が9:04、退出時刻17:59の場合、遅刻時間は0時間00分、早退時間は0時間05分となる

意図通りに集計されたタイムカード入力画面

確認	日付	曜	勤務体系	事由	出勤時刻	退出時刻	労働時間	遅刻時間	早退時間	普
<input type="checkbox"/>	2/25 (月)		0001 通常勤務	03 午前半休	12:50	20:01	8時間00分	0時間00分	0時間00分	
<input type="checkbox"/>	2/26 (火)		0001 通常勤務		9:04	17:59	7時間45分	0時間00分	0時間05分	
<input type="checkbox"/>	2/27 (水)		0001 通常勤務		9:05	20:12	7時間45分	0時間05分	0時間00分	

- ・遅刻時間が5分以上ではないため集計されない
- ・早退は1分ですが5分切り上げの設定が反映されている

■以下の手順で設定します

- 1 [導入処理]-[勤務体系登録]-[勤務体系登録]メニュー「勤務種別」を「0.時間帯」、「出勤区分」を「0.通常出勤」にする
- 2 「労働時間」タブの「遅刻時間」に「2.遅刻時間」と「早退時間」に「3.早退時間」を選択する
- 3 遅刻時間の付加条件に「遅刻時間が0時間05分以上の場合に有効」と設定する

ポイント

- 2で選択できる勤怠時間項目は時間区分が「2.遅刻時間」「3.早退時間」のもの

▽[導入処理]-[勤怠項目登録]-[勤怠時間項目登録]メニュー

参照	コード	勤怠時間項目名	時間区分	利用状態
	002	遅刻時間	02 遅刻時間	1 有効

- 4 [導入処理]-[勤怠端数処理登録]-[勤怠端数処理登録]メニュー「基本」タブの早退時間を「05分単位05分未満」を「0.切り上げ」にする

「付加条件」ボタンをクリックし、以下のように設定します

やりたいこと・こんな疑問がある

- ・会社の就業規則を変更したため、あわせて遅刻・早退時間に集計される時間を変更したい
- ・タイムカード入力に集計された遅刻・早退時間が意図したものになっていない

具体例 時間数勤務の場合

- ・遅刻/早退があった場合にはそれぞれ「遅刻時間」「早退時間」に集計する
- ・出勤時間に猶予を設け9時から11時までに出勤とし、開始から8時間を出勤時間とする。
- ・11時以降に出勤となった場合は遅刻とする
- ・出勤時刻が11:02、退出時刻が19:59の場合

意図通りに集計されたタイムカード入力画面

確認	日付	曜	勤務体系	出勤時刻	退出時刻	遅刻時間	早退時間	普通残業
<input type="checkbox"/>	3/4	(月)	0006 時間数勤務	11:02	20:11	0時間00分	0時間00分	0時間
<input type="checkbox"/>	3/5	(火)	0006 時間数勤務	11:01	19:59	0時間00分	0時間01分	0時間

出社が11時以降なので遅刻が計上されます

11時から8時間(休憩1時間)後にあたる20時より前に退勤しているため

■以下の手順で設定します

- 1 [導入処理]-[勤務体系登録]-[勤務体系登録]メニュー「勤務種別」を「1.時間数」、「出勤区分」を「0.通常出勤」にする
- 2 開始時刻を「9:00」に設定します。
- 3 「労働時間」タブの「遅刻時間」に「2.遅刻時間」と「早退時間」に「3.早退時間」を選択する
- 4 開始時刻を9:00、遅刻開始時刻を11:00にします。

コード	勤務体系名	勤務種別	出勤区分	利用状態
0006	時間数勤務	1 時間数	0 通常出勤	1 有効

労働時間	休憩時間	その他時間等	タイムレコーダ
001 出勤時間	0時間00分		2 開始時刻 9:00 より開始 00分 間隔

遅刻・早退時刻	項目名	時刻
002 遅刻時間	遅刻時間	
003 早退時間	早退時間	
遅刻開始時刻		11:00

ポイント

3で選択できる勤怠時間項目は時間区分が「2.遅刻時間」「3.早退時間」のものです。

▽[導入処理]-[勤怠項目登録]-[勤怠時間項目登録]メニュー

参照	コード	勤怠時間項目名	時間区分	利用状態
	002	遅刻時間	02 遅刻時間	1 有効

やりたいこと・こんな疑問がある

- ・ 直行/直帰のように打刻のない勤務でも正しく出勤時間を集計したい

具体例

- ・ 直行は出勤時刻を9時、直帰は退出時刻を18時とみなし、出勤時間を集計したい

意図通りに集計されたタイムカード入力画面

タイムカード入力

301 営業部 東日本営業課

社員番号 氏名

100000 山田 一郎

それぞれ出勤と退勤の時刻が未打刻です。
しかし事由によって直行/直帰した際の
みなし時刻を参照し出勤時間を集計しています。

確認	日付	曜	勤務体系	事由	出勤時刻	退出時刻	出勤時間
<input type="checkbox"/>	2/25 (月)		0001 通常勤務	06 直行		20:01	8時間00分
<input type="checkbox"/>	2/26 (火)		0001 通常勤務	07 直帰	8:54		8時間00分

■以下の手順で設定します

- 1 [導入処理]-[勤務体系登録]-[勤務体系登録]メニュー
「その他時間等」タブの【みなし時刻】内
「みなし時刻」を「1.打刻がない事由の場合に…」に
設定する
- 2 以下のようにそれぞれの項目を設定する
 - ・ みなし出勤時刻 「使用する」 1日 9:00 半日 13:00
 - ・ みなし退出時刻 「使用する」 1日 18:00 半日 12:00

勤務体系登録

修正

コード	勤務体系名	勤務種別	出勤区分	利用状態
0001	通常勤務	0 時間帯	0 通常出勤	1 有効

労働時間 休憩時間 その他時間等 タイムレコーダ

【みなし時刻】

みなし時刻	1 打刻がない事由の場合にみなし時刻として使用する
みなし出勤時刻	<input type="radio"/> 使用しない <input checked="" type="radio"/> 使用する 1日 9:00 半日 13:00
みなし退出時刻	<input type="radio"/> 使用しない <input checked="" type="radio"/> 使用する 1日 18:00 半日 12:00

ポイント

打刻がない事由とは[導入処理]-[勤怠事由登録]-[事由登録]メニューで
事由区分が「直行」「直帰」「直直」「出張」のものです。

事由登録

修正

コード	事由名	事由区分	利用状態
06	直行	04 直行	1 有効

登録件数 20

コード	事由名	事由区分	利用状態
06	直行	直行	有効
07	直帰	直帰	有効
08	直行直帰	直直	有効
09	出張	出張	有効
10	遅延	遅延	有効
11	欠勤	欠勤	有効
12	代休	代休	有効
13	午前代休	代休	有効
14	午後代休	代休	有効

F11 登録

8 有休の集計される仕組みについて

[勤怠処理] - [勤務データ入力] - [タイムカード入力]

やりたいこと・こんな疑問がある

- 勤怠項目の有休日数、休暇項目の有休残日数や時間有休残はどうやって集計されるのか

【前提】勤怠項目と休暇項目の集計の仕組み

勤務体系が登録されている日程に事由区分が「有休」の事由が登録されることで集計されます。半休や時間休など勤務実績が伴う事由の場合は打刻データ（時刻）があることで集計されます。

具体例

- 前月までの有休残日数が20日と40時間（5日分）、当月に終日有休を1日、半休が1回、時間休を1時間取得した場合、「有休日数」は1.5日と1時間、「有休残日数」は17.5日と7時間と「時間有休残」集計したい

意図通りに集計されたタイムカード入力画面

確認	日付	曜	勤務体系	事由	出勤時刻	退社時刻	普通残業時間	時間有休残
<input type="checkbox"/>	3/11 (月)	0001	通常勤務	02 有給休暇				
<input type="checkbox"/>	3/12 (火)	0001	通常勤務	03 午前半休	12:46	20:01	5時間00分	2時間01分
<input type="checkbox"/>	3/13 (水)	0001	通常勤務	16 時間休1	9:54	20:34	7時間00分	2時間34分
合計							139時間58分	31時間45分

半休や時間休の場合は出退勤の勤務実績があることで集計されます。

終日有休用の「有給休暇」、午前半休用の「午前半休」、時間休1時間用の「時間休1」を登録することで意図通りに集計されています。

有休日数	欠勤日数
1.5 1時間00分	0.0

代休残日数	有休残日数	時間有休残
0.0	17.5 7時間00分	39時間00分

■以下の手順で設定します

- [社員情報]-[社員情報登録]-[社員情報登録]メニューの「有休残日数」「時間有休残」が[タイムカード入力]メニューに初期値として反映されます。

基本	就業	休職・区分
【休日・休暇管理情報】		
休日・休暇管理区分	1	管理する
有休付与日数表	01	正社員有休パターン
有休残日数	20.0 日	0:00 時間
時間有休残	40:00 時間	

確認	日付	曜	勤務体系	事由	出勤時刻	退社時刻	出勤時間	普通残業時間
<input type="checkbox"/>	3/11 (月)	0001	通常勤務					
<input type="checkbox"/>	3/12 (火)	0001	通常勤務		12:46	20:01	5時間00分	2時間01分
<input type="checkbox"/>	3/13 (水)	0001	通常勤務		8:39	20:34	8時間00分	2時間34分
合計							139時間58分	31時間45分

有休の事由がないため、社員情報の残日数がそのまま反映されています。

勤怠	出勤日数	休日数	欠勤日数	代休日数	振休日数	時休日数	法休日数	有休日数	欠勤日数
	18.0	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0

代休残日数	有休残日数	時間有休残
0.0	20.0 0時間00分	40時間00分

- 2 以下のように有休の事由や勤務実績が登録されることで有休日数や残日数にも集計されます。また、日数や時間は[事由登録]メニューの設定に基づいて集計されます。

勤務体系	事由	出勤時刻	退出時刻	出勤時間	普通残業時間
0001 通常勤務	02 有給休暇			0時間00分	0時間00分
0001 通常勤務	03 午前半休	12:46	20:01	5時間00分	2時間01分
0001 通常勤務	16 時間休1	9:54	20:34	7時間00分	2時間34分
				139時間58分	31時間45分

出日数	法出日数	代休日数	振休日数	特休日数	法休日数	有休日数	欠勤日数
0.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	1.5	0.0

有休残日数	時間有休残
0.0	17.5 7時間00分
	39時間00分

当月月初の有休残日数：20日 時間有休残：40時間
 ①20日-1.5日(当月の有休日数)=18.5日
 ②18.5日-1時間(当月の時間休)=17.5日と7時間※
 ③40時間-1時間(当月の時間給)=39時間

※1日=8時間としているため7時間と集計されます
 [社員情報登録]メニューの「就業」タブ
 「休暇換算時間」で1日を何時間とするかを設定できます。

休暇換算時間 8:00 時間

< 「2.有給休暇」 の設定について >

事由登録

修正

コード	事由名	事由区分	利用状態
02	有給休暇	02 有休	1 有効

基本

取得単位	0 終日
取得区分	--

- ・事由区分は「2.有休」にします。
- ・取得単位は「0.終日」にします。

ポイント

取得単位「0.終日」の設定により
 [タイムカード入力]メニューで
 登録した際に有休日数を1日と
 集計します。

< 「3.午前半休」 の設定について >

事由登録

修正

コード	事由名	事由区分	利用状態
03	午前半休	02 有休	1 有効

基本

取得単位	1 半日
取得区分	0 前半
取得時間	0時間00分

- ・事由区分は「2.有休」にします。
- ・取得単位は「1.半日」にします。
- ・取得区分は「0.前半」にします。
 ※午後半休の場合は「1.後半」にします。

ポイント

取得単位「1.半日」の設定により
 [タイムカード入力]メニューで
 登録した際に有休日数を0.5日と
 集計します。

< 「16.時間休1」 の設定について >

事由登録

修正

コード	事由名	事由区分	利用状態
16	時間休1	02 有休	1 有効

基本

取得単位	4 時間単位
時間取得区分	0 指定しない
取得時間	1時間00分

- ・事由区分は「2.有休」にします。
- ・取得単位は「4.時間単位」にします。
- ・取得時間は「1時間00分」にします。

ポイント

取得単位「4.時間単位」と
 取得時間「1時間00分」の設定により
 [タイムカード入力]メニューで登録
 した際に有休時間1時間と集計します。

やりたいこと・こんな疑問がある

- ・勤怠項目の出勤日数はどういう仕組みで集計されるのか
- ・意図した出勤日数にならないが原因はなにか

【前提】出勤日数の集計の仕組み

出勤区分が「通常出勤」または「振替出勤」の勤務体系を登録した日程に「時刻」または「直行直帰」「出張」といった出退勤ともに打刻ができない事由が登録された場合に集計します。

2/18：勤務体系が登録されているが、時刻・事由がないため出勤日数には計上されない

2/19：時刻があるため、1日計上する 2/20,21：直行直帰と出張のため、それぞれ1日計上する

2/22：直行でかつ退出時刻があるため1日と計上する（直帰の場合は出勤時刻が必要）

確認	日付	曜	勤務体系	事由	出勤時刻	退出時刻	出勤時間	普通残業時間	深夜残業時間	残業時間
<input type="checkbox"/>	2/18 (月)		0001 通常勤務							
<input type="checkbox"/>	2/19 (火)		0001 通常勤務		9:00		0時間00分	0時間00分	0時間00分	0時f
<input type="checkbox"/>	2/20 (水)		0001 通常勤務	08 直行直帰			8時間00分	0時間00分	0時間00分	0時f
<input type="checkbox"/>	2/21 (木)		0001 通常勤務	09 出張			8時間00分	0時間00分	0時間00分	0時f
<input type="checkbox"/>	2/22 (金)		0001 通常勤務	06 直行		18:00	8時間00分	0時間00分	0時間00分	0時f
	合計						24時間00分	0時間00分	0時間00分	0時f

勤怠	出勤日数	休出日数	法出日数	代休日数	振休日数	特休日数	法休日数	有休日数	欠勤日数
	4.0							0.0	0.0

合計4日と集計されます

具体例

- ・2/18～22の5日間出勤する、そのうち1日は午後半休を取っている。
この場合の出勤日数は4.5日と集計したい

意図通りに集計されたタイムカード入力画面

確認	日付	曜	勤務体系	事由	出勤時刻	退出時刻	出勤時間	普通残業時間	深夜残業時間	残業時間
<input checked="" type="checkbox"/>	2/18 (土)									
<input type="checkbox"/>	2/17 (日)									
<input type="checkbox"/>	2/18 (月)		0001 通常勤務		8:42	18:42	8時間00分	0時間42分	0時間00分	0時f
<input type="checkbox"/>	2/19 (火)		0001 通常勤務	03 午前半休	12:49	20:39	5時間00分	2時間39分	0時間00分	2時f
<input type="checkbox"/>	2/20 (水)		0001 通常勤務		8:41	18:50	8時間00分	0時間50分	0時間00分	0時f
<input type="checkbox"/>	2/21 (木)		0001 通常勤務		8:39	18:33	8時間00分	0時間33分	0時間00分	0時f
<input type="checkbox"/>	2/22 (金)		0001 通常勤務		8:08	18:47	8時間00分	0時間47分	0時間00分	0時f
<input type="checkbox"/>	2/23 (土)									
<input type="checkbox"/>	2/24 (日)									
	合計							5時間31分	0時間00分	5時f

勤怠	出勤日数	休出日数	法出日数	代休日数	振休日数	特休日数	法休日数	有休日数	欠勤日数
	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0

半休を考慮して出勤日数を集計しています。

■以下の手順で設定します

- 1 [導入処理]-[勤務体系登録]-[勤務体系登録]メニュー
「出勤区分」を「0.通常出勤」または「4.振替出勤」
にする
- 2 「その他時間等」タブの出勤日数を「1日」、
出勤日数算出方法を「1.半休があれば差し引く」と
設定する

修正	勤務体系名	勤務種別	出勤区分	利用状態
0001	通常勤務	0 時間	0 通常出勤	1 有効

修正	勤務体系名	勤務種別	出勤区分	利用状態
0001	通常勤務	0 時間帯	0 通常出勤	1 有効

労働時間 休憩時間 **その他時間等** タイムレコーダ

No.	時間項目	計算式
1 030	残業時間合計	《普通残業時間》 + 《深夜残業時間》

契約時間 0時間00分

【出勤日数】	
出勤日数	1 日
出勤日数算出方法	1 半休があれば差し引く
代休	0 なし

10 休日出勤の日数集計について

[勤怠処理] - [勤務データ入力] - [タイムカード入力]

やりたいこと・こんな疑問がある

- ・勤怠項目の休出/法出日数はどういう仕組みで集計されるのか
- ・意図した休出/法出日数にならないが原因はなにか

【前提】休出/法出日数の集計の仕組み

出勤区分が「所定休出」または「法定休出」の勤務体系を登録している日程に「時刻」が登録された場合、所定休出は休出日数、法定休出は法出日数を計上します。

3/16：出勤区分が所定休出の勤務体系で時刻が登録されているため休出日数に1日計上する

3/17：出勤区分が法定休出の勤務体系で時刻が登録されているため法出日数に1日計上する

確認	日付	曜	勤務体系	事由	出勤時刻	退社時刻	出勤時間	普通残業時間	休出残業時間	休
<input type="checkbox"/>	3/16	(土)	002 所定休日勤務		8:47	18:00		8時間00分		
<input type="checkbox"/>	3/17	(日)	003 法定休日勤務		8:42	18:00			8時間00分	
<input type="checkbox"/>	3/18	(月)	001 正社員勤務		8:44	19:29	8時間00分	1時間29分		
<input type="checkbox"/>	3/19	(火)	001 正社員勤務		8:39	20:46	8時間00分	2時間46分		
	合計									

勤怠	出勤日数	休出日数	法出日数	代休
	2.0	1.0	1.0	

休暇	代休残日数	有休残日数	時間有休残	勤続年休残日数
	0.0	20.0	2時間00分	9.0

修正	コード	勤務体系名	勤務種別	出勤区分
	002	所定休日勤務	0 時間帯	1 所定休出
	003	法定休日勤務	0 時間帯	2 法定休出

具体例

- ・1カ月のうち、1日間は所定休日出勤し、もう1日間は法定休日出勤をしている
この場合、休出日数は1日、法出日数は1日と集計したい

意図通りに集計されたタイムカード入力画面

確認	日付	曜	勤務体系	事由	出勤時刻	退社時刻	出勤時間	普通残業時間	休出残業時間	休
<input type="checkbox"/>	3/16	(土)	002 所定休日勤務		8:47	18:00		8時間00分		
<input type="checkbox"/>	3/17	(日)	003 法定休日勤務		8:42	18:00			8時間00分	
<input type="checkbox"/>	3/18	(月)	001 正社員勤務		8:44	19:29	8時間00分	1時間29分		
<input type="checkbox"/>	3/19	(火)	001 正社員勤務		8:39	20:46	8時間00分	2時間46分		
<input type="checkbox"/>	3/20	(水)	001 正社員勤務	50 代休			0時間00分	0時間00分		
<input type="checkbox"/>	3/21	(祝)								
<input type="checkbox"/>	3/22	(金)	001 正社員勤務							
	合計									

勤怠	出勤日数	休出日数	法出日数	代休日数	振休日数	特休日数	法休日数	有休日数	勤続年休日数
	2.0	1.0	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0時間00分

休暇	代休残日数	有休残日数	時間有休残	勤続年休残日数
	0.0	20.0	2時間00分	26時間00分

意図通りそれぞれの日数が1日計上されています

■以下の手順で設定します

- 1 [導入処理]-[勤務体系登録]-[勤務体系登録]メニュー
「出勤区分」を「1.所定休出」または「2.法定休出」にする

修正	コード	勤務体系名	勤務種別	出勤区分
	002	所定休日勤務	0 時間帯	1 所定休出
	003	法定休日勤務	0 時間帯	2 法定休出

- 2 「その他時間等」タブの出勤日数を「1日」と設定する

労働時間	休憩時間	その他時間等	タイムレコーダ
		【出勤日数】	
		出勤日数	1 1日

この設定で何日と計上するかを設定できます

11 代休の取得について

[勤怠処理] - [勤務データ入力] - [タイムカード入力]

やりたいこと・こんな疑問がある

- ・勤怠項目の休出/代休日数はどういう仕組みで集計されるのか
- ・意図した休出/代休日数にならないが原因はなにか

具体例

- ・休日に出勤した場合、代休を許可します。（取得期限は2カ月以内）
- ・2/16に土曜出勤(所定休出)をし、2/18に代休を取得したい

意図通りに集計されたタイムカード入力画面

確認	日付	曜	勤務体系	事由	出勤時刻	退社時刻	出勤時間	普通残業時間	深夜残業時間	残業時間
<input type="checkbox"/>	2/16	(土)	0003	休日出勤	9:00	18:00		8時間00分	0時間00分	
<input type="checkbox"/>	2/17	(日)								
<input type="checkbox"/>	2/18	(月)	0001	通常勤務			08時間00分	0時間00分	0時間00分	08時
合計							139時間58分	39時間45分	0時間33分	138時

勤怠	出勤日数	休出日数	去出日数	代休日数	振休日数	特休日数	法休日数	有休日数	欠勤日数
	17.5	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	1.5	1時間00分

■以下の手順で設定します

1 [導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「休日設定」

- ・「代休許可」を「する」に設定する
- ・「代休消化期限」を「期限指定(2カ月)」に設定する

2 [導入処理]-[勤怠事由登録]-[事由登録]メニューの「事由区分」を「10.代休」にする

※『代休(事由区分「代休」)』はあらかじめ登録されているため削除をしていない場合、この設定は不要です。

3 [導入処理]-[勤務体系登録]-[勤務体系登録]メニュー「出勤区分」を「1.所定休出」にする

4 「その他時間等」タブの代休を「あり」と設定する

5 [タイムカード入力]メニューで3と4で作成した勤務体系を2/16に登録する

6 5のあとに表示される「代休日指定」画面で代休を取得する日を設定すると事由が登録される

①(インフォメーションマーク)にカーソルをあわせると紐づいている代休や休日出勤日が表示されます。

12 振替出勤と振替休暇の日数集計について

[勤怠処理] - [勤務データ入力] - [タイムカード入力]

やりたいこと・こんな疑問がある

- ・振替出勤と振替休暇の場合、勤怠項目はどのように集計されるのか
- ・意図した出勤日数や振休日数にならないが原因はなにか

【前提】振替出勤とに振休日数の集計の仕組み

出勤区分が「振替出勤」の勤務体系が登録されている日程に「時刻」が登録された場合、出勤日数に集計されます。また事由区分が「振休」の事由が登録された場合、振休日数が集計されます。

具体例

- ・2/23に振替出勤をするため、2/22を振替休暇とする
- ・この場合に出勤日数は1日、振替休暇は1日と集計したい
- ・また1カ月以内に取得することとし、振休日の休日出勤や振替出勤は許可しない

意図通りに集計されたタイムカード入力画面

確認	日付	曜	勤務体系	事由	出勤時刻	退出時刻	出勤時間	普通残業時間
<input type="checkbox"/>	2/22 (金)		0001 通常勤務	17 振休			08時間00分	08時間00分
<input type="checkbox"/>	2/23 (土)		0005 振替出勤		9:00	19:11	8時間00分	18時間11分
	合計							

勤務	出勤日数	休日出数	法出勤数	代休日数	振休日数	特休日数	法休日数	有休日数	欠勤日数
	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	08時間00分

コード	勤務体系名	勤務種別	出勤区分
0005	振替出勤	0 時間帯	3 振替出勤

■以下の手順で設定します

- 1 [導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「休日設定」
 - ・「振休消化期限」を「期限指定(2カ月)」に設定する
 - ・「振休日の休日・振替出勤」を「なし」に設定する
- 2 [導入処理]-[勤怠事由登録]-[事由登録]メニューの「事由区分」を「16.振休」にする
 - ※『振休(事由区分「振休」)』はあらかじめ登録されているため削除をしていない場合、この設定は不要です。
- 3 [導入処理]-[勤務体系登録]-[勤務体系登録]メニュー「出勤区分」を「3.振替出勤」にする

- 4 [タイムカード入力]メニューで3で作成した勤務体系を2/23に登録する
- 5 4のあとに表示される「振休日指定」画面で振休を取得する日を設定すると事由が登録される

修正

運用設定 休日設定 休暇設定 処理設定 システム設定 桁数

振休取得期限 当月の勤怠期間 期間指定 (1ヵ月) 無期限

振休日の休日・振替出勤 なし あり

修正

コード	事由名	事由区分	利用状態
17	振休	16 振休	1 有効

勤務体系登録

修正

コード	勤務体系名	勤務種別	出勤区分
0005	振替出勤	0 時制	3 振替出勤

振休日指定

振休日 振休日(分割消化) 振休消化なし

日付 2019年2月22日

事由 17 振休

振休日指定画面で振休を取得する日を設定すると事由が登録される

i (インフォメーションマーク)にカーソルをあわせると紐づいている振休や振替出勤日が表示されます。

13 深夜勤務の時間集計について

[勤怠処理] - [勤務データ入力] - [タイムカード入力]

やりたいこと・こんな疑問がある

- ・従業員が深夜時間帯に勤務することになったので設定方法を知りたい
- ・深夜勤務の従業員分がタイムカード入力上で正しく集計されないのはなぜか？

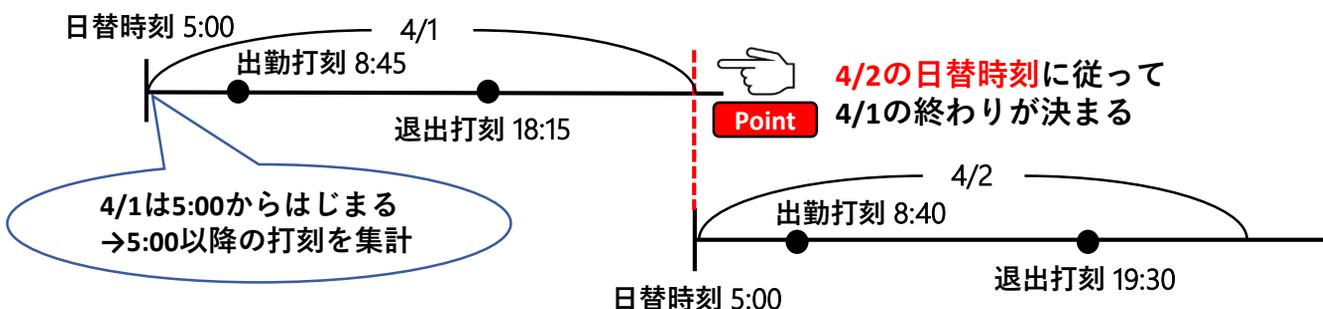
【前提】日替時刻と翌日日替時刻について

労働時間が日をまたぐ場合、出退勤の打刻を何月何日分として集計するかを設定します。働く時間帯にあわせて、その日の始まりと終わりの時間を決めることで意図した集計ができます。

【例】深夜勤務は4月1日の21時～4月2日の6時までを勤務時間とし、これを4月1日分として集計する。そのため前後に余裕を持たせ、4月1日の始まりを20時、終わりを翌10時とする

日替時刻とは？ その日が「何時からはじまるか」を決める設定

<日中勤務の場合>

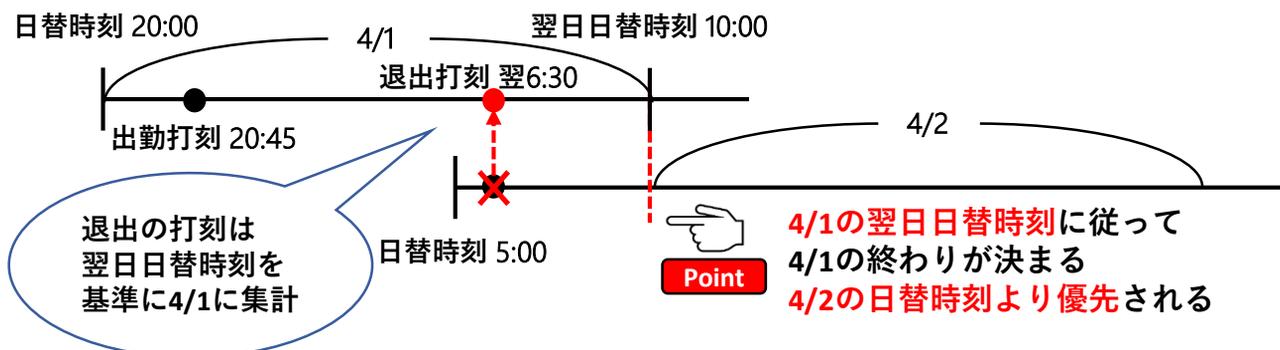


勤務時間帯が9:00～18:00の場合、この時間帯にあわせてその日の始まり(日替時刻)を設定します。また、翌日の4/2も5:00からはじまり、同時に4/1は翌5:00までとなります。

※上記の図は次の日もおなじ時間帯の勤務をすることを想定しています。

翌日日替時刻とは？ その日が「何時に終わるか」を決める設定

<深夜勤務の場合>



勤務時間帯が21:00～翌6:00のように日をまたぐ場合、この時間帯にあわせてその日の始まり(日替時刻)と終わり(翌日日替時刻)を設定します。翌日日替時刻を設定することで図のように翌日4/2の日替時刻が5:00だった場合でも翌日日替時刻を優先して集計します。

この設定により4/2の6:30の退勤打刻は4/1分として集計します。

具体例

深夜時間帯に勤務する従業員がいる

- ・ 21:00～翌6:00を出勤時間に集計 ・ 翌6:00～翌9:00を普通残業時間に集計
- ・ 22:00～翌5:00を深夜25%割増時間に集計
- ・ 休憩は出勤時間が6時間以上の場合45分、8時間を超える場合は追加で15分、合計1時間取る
- ・ 休憩時間は出勤時間と深夜残業時間の集計から除く
- ・ 出勤時刻が20:45、退出時刻が翌6:30の場合、出勤時間は8時間、普通残業時間は30分、深夜25%割増時間は6時間になるようにしたい

意図通りに集計されたタイムカード入力画面

タイムカード入力

301 営業部 東日本営業課

社員番号 氏名

100000 山田 一郎 <在籍>

パターン名 勤務データ入力

画面表示 社員番号順

確認	日付	曜	勤務体系	事由	出勤時刻	退出時刻	出勤時間	普通残業時間	深夜25%割増時間	休
<input type="checkbox"/>	4/ 1 (月)	005	深夜勤務		20:45	翌 6:30	8時間00分	0時間30分	6時間00分	
<input type="checkbox"/>	4/ 2 (火)	001	正社員勤務							

よくある意図通りに集計されないパターン

確認	日付	曜	勤務体系	事由	出勤時刻	退出時刻	出勤時間	普通残業時間	深夜25%割増時間	休
<input type="checkbox"/>	4/ 1 (月)	005	深夜勤務		20:45		0時間00分	0時間00分	0時間00分	
<input type="checkbox"/>	4/ 2 (火)	001	正社員勤務			6:00	0時間00分	0時間00分		

勤務時間にあった「日替時刻（はじまり）」と「翌日替時刻（おわり）」が設定されていないため意図していない日付に集計されてしまっています。この図では4/1の翌日替時刻が設定されておらず、4/2の日替時刻5:00を基準に6:00の打刻は4/2分として集計されています。

■以下の手順で設定します

- 1 [導入処理]-[勤務体系登録]-[勤務体系登録]メニュー「勤務種別」を「0.時間帯」、「出勤区分」を「0.通常出勤」にする

勤務体系登録

修正

コード 勤務体系名 勤務種別 出勤区分

005 深夜勤務 0 時間帯 0 通常出勤

労働時間 休憩時間 その他時間等 タイムレコーダ

No.	労働時間	休憩時間	時間帯
001	出勤時間		21:00 ~ 翌 6:00
1 051	普通残業時間	0 帯	翌 6:00 ~ 翌 9:00
2 062	深夜25%割増時間	1 帯(重)	22:00 ~ 翌 5:00

- 2 [労働時間] を以下のように設定する
 出勤時間 : 21:00～翌6:00
 普通残業時間 : 翌6:00～翌9:00
 深夜25%割増時間 : 22:00～翌5:00 (1.帯(重))

- 3 [休憩時間] タブ
 「時間数」45分
 ・ 休憩時間帯 : 出勤時間
 休憩時間帯(重複) : 深夜25%割増時間
 ・ 付加条件: 集金時間が6時間以上の場合有効

労働時間 休憩時間 その他時間等 タイムレコーダ

【時間数・時間帯】

時間数	休憩時間帯	休憩時間帯(重複)	付加条件
0時間45分 001	出勤時間	062 深夜25%割増時間	出勤時間が6時間00分以上の場合に有効
0時間15分 001	出勤時間	062 深夜25%割増時間	出勤時間が8時間00分以上の場合に有効

- 「時間数」15分
- ・ 休憩時間帯 : 出勤時間
 - 休憩時間帯(重複) : 深夜25%割増時間
 - ・ 付加条件: 集金時間が8時間以上の場合有効

労働時間 休憩時間 その他時間等 タイムレコーダ

【タイムレコーダ】

日替時刻 20:00

翌日替時刻 使用しない 使用する 10:00

- 4 ④ [タイムレコーダ] タブの日替時刻を20:00、翌日替時刻を10:00